

障がい者用電動車椅子制御システムの実演

平成 29 年
3 月 13 日
(月)

内容：生体信号計測装置ファージ (FARG) の説明

ファージを用いた障がい者用電動車椅子制御システムの実演

※ 宮崎大学の学生が車椅子に乗って実演します。

14時30分～15時30分

(開場 14時)

入場無料、事前申込不要

会場：文部科学省 情報ひろば

1階ラウンジ

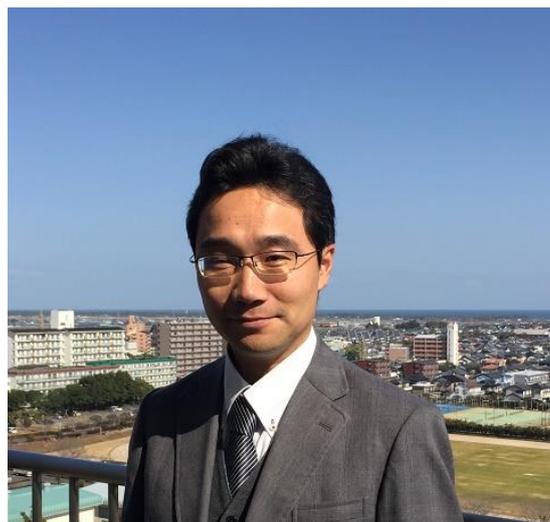
(旧文部省庁舎、東京都千代田区霞が関 3-2-2)

銀座線「虎ノ門」11番出口直結、

千代田線「霞ヶ関」A13番出口 徒歩5分

問合せ先：宮崎大学 広報・渉外課

kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp



説明者

宮崎大学 工学教育研究部
環境ロボティクス学科担当

田村宏樹 教授



ALS 患者や筋ジストロフィ患者は、病状が進むと筋肉が衰えていき、いろいろな機器が制御できなくなっています。宮崎大学と宮崎県内企業との共同研究により、比較的病気が進んでも機能が残っている顔の表情筋の変化と視線を同時に計測することが可能な新たな生体信号計測装置ファージ (FARG) を開発しました。ファージは、顔にメガネ感覚で簡単に装着することができる生体信号計測装置です。ファージを用いることで、顔の筋肉を動かすことができる患者は、顔の表情の変化を計測することで電動車椅子をコントロールすることができます。また、電動車椅子に装着しているセンサーを用いて障害物を回避する機能を有しており、走行時の安全性を高める工夫をしています。

本イベントでは、生体信号計測装置ファージ (FARG) の説明、ファージを用いた障がい者用電動車椅子制御システムの実演を行います。